

11月選抜

令和2年度 教育実践高度化専攻  
言語系教科マネジメントコース（国語） 試験問題

受験番号

--	--	--	--	--	--

令和二年度「教職」教育実践高度化専攻  
言語系教科マネジメントコース(国語) 試験問題

注意事項 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

問題一(国語科教育)

三読法と一読総合法について、授業方法の違いと、それぞれの課題を説明せよ。

# 令和二年度〔専門〕教育実践高度化専攻 言語系教科マネジメントコース(国語) 試験問題

注意事項

問題一～問題三の三問題から一問題を選択し解答すること。

選択した問題の番号を解答用紙の「問題番号」欄に必ず記入すること。

解答は別紙の解答用紙に記入すること。

## 問題一(国語学)

日本語の語彙は、出自の違いから一般的に四種に分けられる。その四種をあげ、語彙としての特徴を説明せよ。さらに、類義関係にある「とく・はやく」「すでに」「速(すみやか)に」「迅速に」「スピーディーに」について、語の出自と文体的位相の観点から、語種の違いを歴史的に詳しく説明せよ。

## 問題二(国文学)

『新古今和歌集』の集名・撰者・成立・構成・歌風・入集歌数などについて、知るところをできるだけ具体的に述べよ。

## 問題三(日本語教育学)

第二言語の習得について、クラッシュェン(S. Krashen)のモニター・モデルで提唱されている五つの仮説をすべてあげ、説明せよ。